

モデルプログラム N-2 成長する教師ー外国人児童生徒等教育の専門性の向上ー

ねらい	外国人児童生徒等教育に求められる資質・能力「豆の木モデル」に照らして自身を評価し、自己研修の計画を立てることができる。
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 教師を目指す学生(教員養成課程他) <input checked="" type="checkbox"/> 日本語教育を学ぶ学生 <input checked="" type="checkbox"/> 現職日本語指導担当教員 <input checked="" type="checkbox"/> 現職一般教員(管理職含む) <input checked="" type="checkbox"/> 管理職 <input checked="" type="checkbox"/> 指導主事 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語支援員/母語支援員
日本語指導・外国人児童生徒等教育の経験	<input checked="" type="checkbox"/> 経験なし <input checked="" type="checkbox"/> 1年目 <input checked="" type="checkbox"/> 2-4年 <input checked="" type="checkbox"/> 5年-9年 <input checked="" type="checkbox"/> 10年以上
高めたい資質・能力	<input type="checkbox"/> 捉える力(子どもの実態把握) <input type="checkbox"/> 捉える力(社会的背景の理解) <input type="checkbox"/> 育む力(日本語・教科の力の育成) <input type="checkbox"/> 育む力(異文化間能力の涵養) <input type="checkbox"/> つなぐ力(学校作り) <input type="checkbox"/> つなぐ力(地域作り) <input type="checkbox"/> 変える/変わる力(多文化共生社会の実現) <input checked="" type="checkbox"/> 変える/変わる力(教師としての成長)
主な内容	N 成長する教師(教員・支援員)
活動形態	<input type="checkbox"/> 講義型 <input checked="" type="checkbox"/> 活動型 <input type="checkbox"/> フィールド型 <input type="checkbox"/> 実習
時間	授業・研修の受講前と受講後に計 45 分
流れ(・項目)	活動(◇活動の工夫)
《授業・研修の受講前》 1. 外国人児童生徒等教育に求められる資質・能力を自己評価する。(10分) ・省察的实践家(N) 《授業・研修の受講後》 2. 自身の学びを評価する。(15分) ・日本語教育に関わる専門性、外国人児童生徒等教育に関わる専門性(N) ・自己の変容(N) 3. 自己研修を計画する。(15分) ・自己の変容、自己研修(N)	1. 外国人児童生徒等教育に関する資質・能力について自己評価する。 外国人児童生徒等教育を担う教員に求められる「具体的な力」の自己評価票(例:『外国人児童生徒等を担う教員の養成・研修のための「モデルプログラム」ガイドブック』p.17~18)を用いて、自分自身の資質・能力を評価し、記録しておく。 2. (授業・研修受講終了後に)受講した授業・研修の目標に照らして自身の学びを位置付ける。 1) 受講した授業・研修が高めようとしていた力を「求められる具体的な力」の一覧表から選んで○を付ける。 2) 1)で○を付けた「求められる具体的な力」の項目について、1.の自己評価と比較しながら、受講後について自己評価する。 3) 自分自身の成長や変容について内省する。 3. 自己評価を見ながら、今後つけたいと思う力を一覧表から選び、その力を伸ばすための具体的な自己研修の計画を作成する。
備考	・外国人児童生徒等教育を担う教員の資質・能力モデル「豆の木モデル」について、事前に講義等で理解しておくことが望ましい(20分程度)。 ・授業・研修時間外の課題として各個人で行ってもよい。 ・時間中に行う場合は、各自の成長や変容を共有し、今後の研修計画について受講者間でアドバイスを行ってもよい。